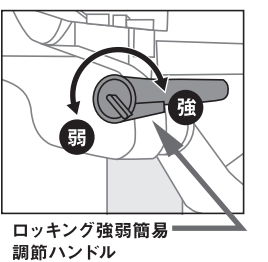
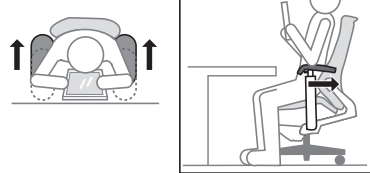
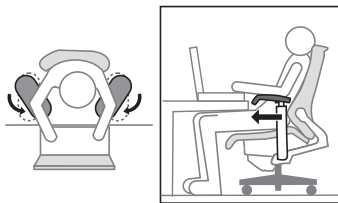
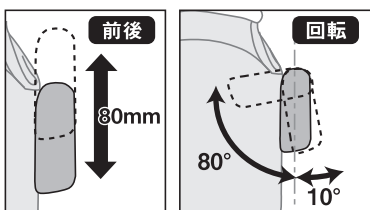
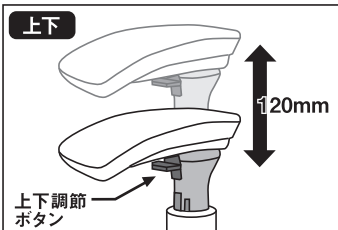
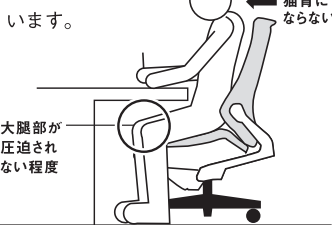
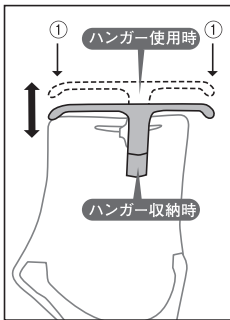
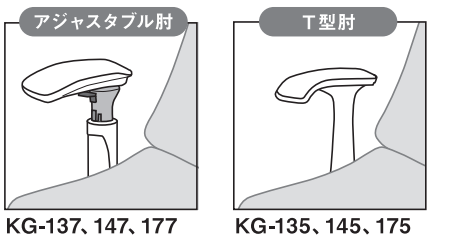
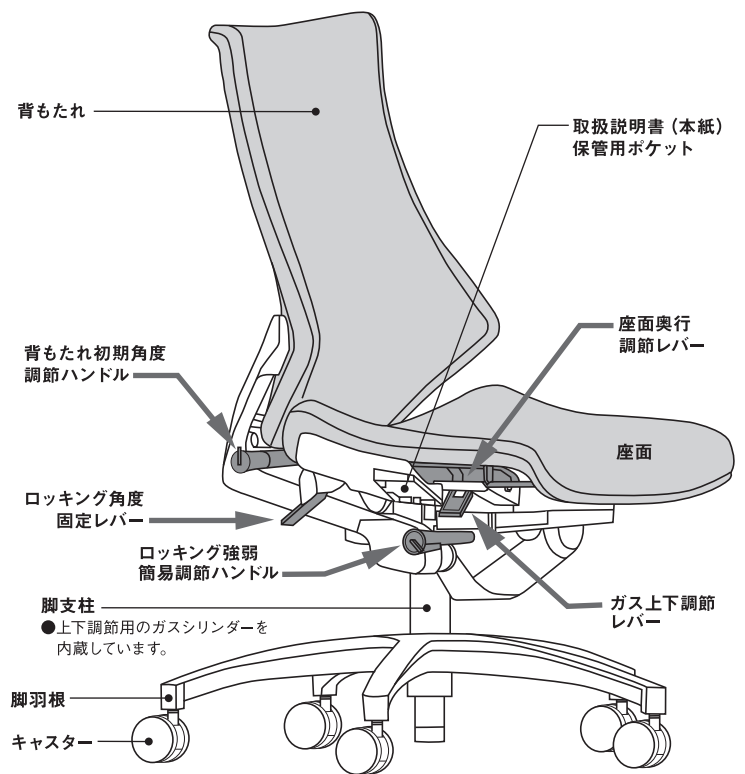
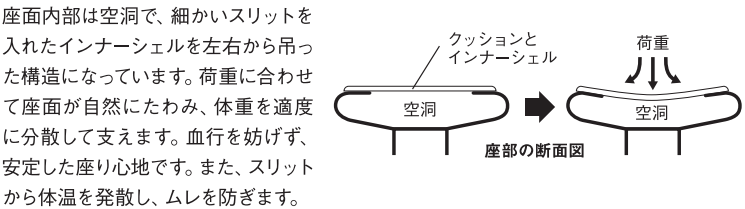
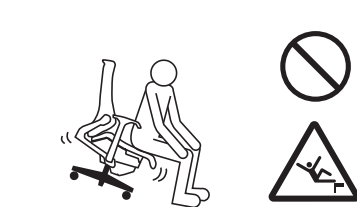


- KG-1**** KG-1**(H)はハンガー付きを表す
●製品記号は、座面の裏側にラベルで表示してあります。

- 1.安全上の注意事項
- 2.使用上の注意事項
3. エフチェアの機能・調節
4. 点検・お手入れ
5. 故障かな?と思ったら
6. 品質表示
7. パーツの交換の方法



ロッキングの固定・解除

ロッキングの角度をお好みの場所で固定することができます。

ロッキングを固定するとき
 座面右側下部のロッキング角度固定レバーを上部にあげてください。

ロッキングを解除するとき
 座面右側下部のロッキング角度固定レバーを「カチッ」と音がするまで下方に下げてください。

●角度固定レバーは写真の位置（くぼみ）を指先で持ち、操作してください。

！ ロッキング角度固定レバー操作時は背にもたれながら操作してください。もたれていない状態でロッキング解除すると、勢いよく背がもどり、けがをすることがあります。

座面の奥行調節機能

座面の奥行きは10mmピッチで約50mmの範囲で調節できます。
 着座状態で座面前側下部の両側にあるつまみを前後させることで、座面の前縁部が折れ曲がり、奥行きを調節することができます。奥行き調整時に座面の張地の巻き込みによるシワ等が発生しますが、機能上は問題なくご使用できます。

！ 座面前ぶちに荷重をのせないで下さい。前後調節ができません。

4 点検・お手入れ

快適にお使いいただくため、メンテナンスをお願いいたします。

点 検

△注意 ボルトやネジがゆるんだままで使用すると、本体がこわれてけがをすることがあります。

ネジのゆるみ
 使用中にボルトやネジのゆるみによるガタツキが生じた時は、増し締めをしていただくことが長持ちの秘訣です。早めの増し締めをお願いします。

異音の発生
 ロッキング部やキャスターから異音が生じた時は、ただちに使用をやめ、お買求めの販売店にご連絡ください。

5 故障かな？と思ったら

現象	ご対応
キャスターが転がりすぎる。	●Pタイル等の硬質の床面では、ゴム単輪又は抵抗付ウレタン双輪キャスターをご使用ください。
座が下がらない。	●ガス上下調節レバーを操作する時、座面の中央部に体重をかけていますか。●座面が最低位置になっていませんか。
座が上がらない。	●ガス上下調節レバーを操作する時、座面から腰を浮かせていますか。●座面が最高位置になっていませんか。
ガス上下調節レバーを操作しなくても座が下がる。	●ガス上下調節レバーを操作しない状態で座面が1～2cm下がる現象は、タックリングといい、着座時の衝撃を緩和する上下ガスシリンダーに備わった機能です。
座面の奥行き調節ができない。	●座面前側に荷重がかかっていませんか。●座面の奥行きが一番短い状態もしくは長い状態になっていませんか。
ロッキングの固定ができない。	●ロッキング角度固定レバーが「カチッ」と音がするまで操作されていますか（半がかりの状態になっていませんか）。
ロッキング強弱調節ができない。	●背もたれが初期状態でのみ強弱調節が可能です（背にもたれた状態や角度固定状態では調節できません）。●強弱調節は5段階です。5段階以上の操作はできません。
異常な音がする。	●ロッキング部やキャスターから異音が生じた時は、ただちに使用をやめ、お買求め先の販売店へご連絡ください。
クッション部の汚れが落ちない。	●「お手入れ」の処置をしても汚れが落ちないときは、新しいクッションもしくは縫製品とのパーツ交換をおすすめします。
背もたれ、座面にシワがある。	●長時間の着座など、使用状況によってはシワが発生することがあります。●生産のばらつきにより、微細なシワが生じることがあります。
左右のアジャスタブル肘の高さが違う。	●左右の調節段階（5段階）は一緒ですか。●調節段階が同じでも、生産のばらつきにより若干の高低差が生じる時があります。
左右のアジャスタブル肘の調節時の作動力が違う。	●お客様の体格によっては、左右の作動力が違うように感じる場合があります。●生産のばらつきにより、左右の作動力には若干の差が生じる時があります。

△ 不具合が直らない場合は使用を中止し、お買求めの販売店までご連絡をお願いいたします。

背もたれ初期角度調節

背もたれの傾斜角度を3段階で調節できます。背もたれ右側のハンドルを矢印方向に回転させることで調節ができます。

！ 調節の際は、背にもたれないでください。背にもたれた状態では、操作ができません。

背もたれ初期角度調節ハンドル

●背もたれの種類は3種類

メッシュバック KG-17*

クロスバック（ハイバック） KG-13*

クロスバック（ローバック） KG-14*

●脚の種類は2種類

アルミ脚タイプ

樹脂脚タイプ

お手入れ

背もたれ・座面の裏部、脚部、肘部のお手入れ
 きれいな布を水にぬらし、固く絞ってふいてください。汚れのひどい時には、うすめた中性洗剤溶液でおふきください。

△ シンナー、アルコール類の使用は避けてください。変色する場合があります。

△ アルミ材をお手入れの際は、乾いた布で水分をふき取ってください。水分が付着したまま放置すると、さびや変色の原因となります。

背メッシュ・布地・クッション部のお手入れ
 手ではたくか、電気掃除機ではこりを吸いとってください。クッション部の汚れがひどい場合には、新しいクッションとの交換をおすすめします。

6 品質表示

機種		KG-17△■■■-ZT	KG-17△■■■	KG-13△□□	KG-14△□□
	ハンガー付	KG-17△■■■(H)ZT	KG-17△■■■(H)	KG-13△□□(H)	KG-14△□□(H)
	背もたれタイプ	メッシュバック		クロスバック (ハイバック)	クロスバック (ローバック)
	脚タイプ	アルミ脚タイプ	樹脂脚タイプ		
項目					
寸法 (単位: mm)	幅※脚部除く	肘なし 500／T型肘付 660／アジャスタブル肘 665～710			
	奥行き※脚部除く	610 (H660)		600 (H650)	600 (H650)
	高さ	930～1045 (H960～1130)		940～1055 (H970～1140)	880～995 (H910～1080)
	座面前縁の高さ	430～545			
重量 (単位: kg)	肘なし	16.1 (H16.5)	15.7 (H16.1)	15.5 (H15.9)	15.3 (H15.7)
	T型肘付	17.6 (H18.0)	17.2 (H17.6)	17.0 (H17.4)	16.8 (H17.2)
	アジャスタブル肘付	18.6 (H19.0)	18.2 (H18.6)	18.0 (H18.4)	17.8 (H18.2)
構造部材	腰部フレーム	ポリアミド+ガラス、金属<アルミ>			
	背インナーシェル	ポリアミド+ガラス (背フレーム)		ポリプロピレン	
	座インナーシェル	ポリプロピレン			
	座受け部	金属<鋼>			
	肘掛け部	肘無し — / 肘付き ポリアミド+ガラス、ポリプロピレン、ウレタンフォーム (表皮材)			
	脚羽根部	金属 <アルミ>	ポリアミド+ガラス	ポリアミド+ガラス	
	脚支柱部	金属<鋼>			
	ハンガー部	ポリアミド+ガラス			
表面加工		粉体塗装			
メッシュ材		JA:ポリエステル100% / JB, JV: ポリエステル73%+再生ポリエステル27%		—————	
張り材		GS,PS: 再生ポリエステル63% + ポリエステル37%			
クッション材		ウレタンフォーム			

「家庭用品品質表示法」にもとづく表示

7 パーツ交換の方法

下記の部品は、ご使用者の手で交換できます。消耗、破損の際は、下記をよくお読みのうえ、部品を交換して末永くご使用ください。

△安全上の注意事項
 ㊦ マークは禁止行為を表わします。
 ！ このマークは行為の指示を表わします。

△警告 交換するパーツ以外は触れないでください。ガスシリンダーやスプリングなど高压パーツを分解するとけがをすることがあります。

△注意 パーツを交換するときは座面を最高位にしてください。座面が急上昇して、けがをすることがあります。指をはさむなど、けがをすることがあります。

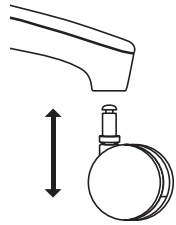
注意の種類の規定：一般社団法人日本オフィス家具協会（JOIFA）による次のような危険性の規定に基づいています。

△警告 取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性があります。

△注意 取り扱いを誤ると傷害または物的損害が発生する可能性があります。

キャスターの交換

- イス本体を、安定した所へ横向きに置いてください。
- 脚羽根とキャスターの隙間にマイナスドライバーを差し込み、起こすように動かしてキャスターを外してください。
- 新しいキャスターをしっかりと奥まで差し込んでください。使用時に外れると、怪我をする恐れがあります。



- △ キャスターについての注意事項
- ！ キャスターは消耗品です。破損・異音等の異常が発生した場合は速やかな交換をお勧めします。
- △ ナイロン双輪キャスターを選ばれた時の注意事項
- ！ Pタイルのような硬質床でナイロン双輪キャスターを使用すると、キャスターが転がりすぎて転倒して怪我をするおそれがありますので、抵抗付ウレタン双輪キャスターまたはゴム単輪キャスターをお選びください。
 - ！ 軟質塩化ビニール床でのナイロン双輪キャスターの使用は避けてください。ナイロン双輪キャスターで床面にキズ・凹みが発生することがあります。
- △ 抵抗付ウレタン双輪キャスター・ゴム単輪キャスターを選ばれた時の注意事項
- ！ 軟質塩化ビニール床に含まれる可塑剤が抵抗付ウレタン双輪キャスターのウレタン部やゴム単輪キャスターのゴムを侵し、破損・色移り等の不具合が発生する可能性があります。
 - ！ 抵抗付ウレタン双輪キャスターのウレタン部および肘パッド部は、使用環境により大きくばらつきますが、加水分解により自然に経年劣化します。また、床面のワックス清掃時に使用される剥離剤によっても劣化が促進されますので破損した場合は早めのキャスター交換をおすすめします。